

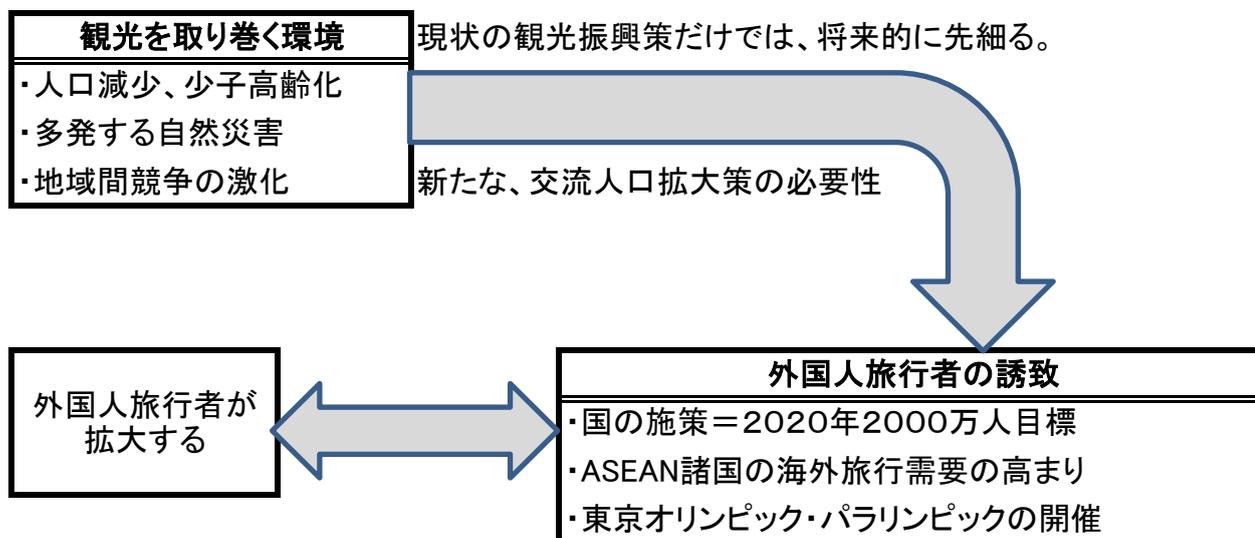
笠間市外国人旅行者受入検討会

(平成26年度最終報告)

- 1 外国人旅行者受入の目的
- 2 外国人旅行者受入検討会の構成
- 3 外国人旅行者受入検討会の経過
- 4 ビジョン
- 5 検討会の議論を踏まえた外国人旅行者受入の考え方
- 6 具体的な施策
 - (1)受入整備関係
 - (2)マーケティング関係
- 7 今後の課題
- 8 笠間市外国人旅行者受入検討会について

平成27年3月

1. 外国人旅行者受入の目的



2. 外国人旅行者受入検討会の構成

笠間市外国人旅行者受入検討会の構成	
関係団体・事業者	笠間観光協会、笠間市商工会、笠間焼協同組合、笠間市国際交流協会、旅館料亭組合、社寺、美術館、社寺、美術館、商店会、窯元、運輸関係
笠間市	産業経済部(商工観光課)、企画政策課、管理課、都市計画課、市民活動課、まちづくり推進課、
茨城県	茨城県観光物産課国際観光推進室

3. 外国人旅行者受入検討会の経過

(第1回)平成26年4月18日

- ・事業趣旨、全体計画説明

(第2回)平成26年5月30日

- ・想定される整備に関して
- ・第1回検討会の意見を踏まえ、必要とされる整備目標の内容について
- ・マーケティングについて、どこの国を主たる誘致対象にし、笠間の何を売り込むのかを検討

(先進地視察:千葉県成田市)平成26年6月27日 参加者30名で実施

- ・JR成田駅から成田山新勝寺への参道及び寺院内における外国語表記、Wi-Fi整備状況等の視察
- ・成田市及び成田市観光協会担当者との意見交換

(第3回)平成26年7月11日

- ・市より現状報告
- ・先進地視察の結果について
- ・外国人旅行者受入ビジョンについて検討

(第4回)平成27年2月27日

- ・検討結果のとりまとめについて
(中間報告書(第3回検討会までのまとめ)の確認、検討)
- ・整備状況(周遊バス英語アナウンス、Wi-Fi整備など)
- ・プロモーション活動報告
(ベトナムでのPR、タイ国メーサイ市訪問)
- ・平成27年度に予定する整備について

4. ビジョン

笠間市の観光については、歴史・芸術を原点とする資源と市民のアイデアを活かした催事を実施し観光振興を行ってきた。

しかし、加速する人口減少、少子高齢化社会の進展により、地域間競争が激化していることから、新規需要を作り出すことにより新たな観光振興に繋げてゆく必要がある。

これらの対策として、官民協働により外国人旅行者受入態勢の整備を行い、新たなお客様として多くの外国人を迎え入れることにより、新規需要を創出し、年間を通じた交流人口の拡大に繋げる。

また、外国人との交流を図ることで、洗練された街づくり、人づくりに繋がり、新たな魅力を持った笠間市を目指す。

併せて、これらの活動が諸外国との友好親善、国際貢献、世界平和に繋がることを位置づけてゆく。

5. 検討会の議論を踏まえた外国人旅行者受入の考え方

- ① 外国人旅行者の誘致に最低限不可欠とされるWi-Fi、外国語パンフレット等については、民間と行政とが協働し整備を進める。
- ② 誘致活動、プロモーションにおいては、茨城県の施策と連携するとともに、笠間市とすでに交流のある国、又は、交流の見込める国からの団体を主な対象としてゆく。
主な対象国:タイ、ベトナム、マレーシア、シンガポールなど
- ③ 陶芸、社寺、酒蔵等、笠間の個性といえる部分売り込む。
- ④ 日本の文化、風習の体験で市民と外国人が交流する企画やホームステイなど、国際交流を笠間市の特色として、他の観光地との差別化を図る。
- ⑤ 景観整備
 - ◎メインストリートの町並みに加え、面の整備
 - ◎開放感のある店舗
 - ◎歩行者天国(駐車場事業者との調整)
 - ◎多言語サインは、景観に配慮が必要(英語だけでも十分機能する)
- ⑥ 市民のメリット、街のメリットは何か・・・経済効果をどのように測るか
- ⑦ 在日外国人の意見を活用
- ⑧ 近隣県、近隣市町との連携による集客アップ
- ⑨ 笠間市の強みをPR、弱点は改善・・・在日外国人の意見を活用
- ⑩ 外国人にとって一目でわかる工夫(店舗、商品、メニュー)
- ⑪ コミュニケーション能力の向上(簡単な英会話)
- ⑫ 国内で開催される国際的なMICE関連したエクスカージョンの誘致
- ⑬ 継続して来訪してもらえる魅力づくり
- ⑭ 交流国の歴史、文化、国民性を学ぶ

6. 具体的な施策

(1) 受入整備関係

※【】内は想定される整備時期及び実施主体

- ① 外国人が無料で使えるWi-Fiの整備（フレッツ光AP 主な観光施設25ヶ所 27年3月現在）
【実施時期：26年7月～28年度、実施主体：民間（市が調整・支援）】
- ② 観光ガイドブックの多言語化（タイ語、ベトナム語、韓国語、英語）
情報発信・PRツールとしての笠間の観光を総合的に紹介するガイドブックの多言語化を行う。
【実施時期：英語版は、27年度に作成予定。28年度から順次実施、実施主体：市】
- ③ 多言語表記による、笠間市内ガイドマップの新規作成。
外国人旅行者誘致活動、および外国人来訪者の利用を目的としたマップの作成
【実施時期：段階的に実施、実施主体：市】
- ④ 施設のサイン・メニュー等の多言語化
【実施時期：段階的に実施、実施主体：民間】
県の翻訳サービスの活用
・県の翻訳サービスの活用
・CIR（国際交流員）の活用
- ⑤ 笠間市内のインフォメーション・サイン等の多言語化
JR駅においては、JRの基準によって多言語表示がなされているが、バス停等における行き先表示は多言語化が必要である。
主要観光スポットである、芸術の森公園、笠間稲荷神社周辺、つつじ公園、愛宕山、佐白山麓公園、北山公園等は、多言語表示やピクトグラムの設置を行う。
【実施時期：優先度を勘案し段階的に整備、実施主体：市、施設管理者】
- ⑥ 笠間観光周遊バスの車内アナウンス（録音）を英語アナウンス化
【実施時期：現在進行中、26年度内完成予定、実施主体：市】
- ⑦ 外国人に分かりやすい陶芸体験のマニュアル化と作品の海外発送に関し確立させる。
【実施時期：段階的に実施、実施主体：民間】
- ⑧ 市民交流の受け皿として、ホストファミリーの組織化
【実施時期：段階的に実施、実施主体：市】

(2) マーケティング関係

① 誘致活動

- ・茨城県の行う海外プロモーション活動と連携することにより効果的に進めてゆく。
- ・誘致活動実行組織の編成

② 初期段階の誘致活動

- ・団体募集ツアー、組織団体旅行、交流事業等の交渉窓口(在日ランドオペレータ)があるところを対象としてゆく。
- ・モニターツアーの誘致

③ 笠間市のセールスポイント

- ・既成概念にとらわれず、日本や笠間市の文化、風習の体験や市民と外国人が交流する企画を作る。
また、笠間稲荷神社や西念寺をはじめ、数多くある社寺におけるの修養体験や「笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例推進協議会」と連携した企画を売り込んでゆく。

④ ショッピングツーリズムの推進

- ・免税店、カード決済

⑤ ホームステイ受入れ態勢を構築し、笠間市民と外国人の交流を笠間市の特色として、他の観光地との差別化を図る

- ・笠間市市民活動課(現在ホストファミリー4軒、最終目標20軒)

⑥ 誘致計画に数値目標を設定する

7. 今後の課題

- ① 観光関連団体・事業者、笠間市民に向けた、外国人旅行者を迎え入れるための機運づくり
(先行事例として整備のモデル地域設定、かんたん英語塾、在日外国人との交流機会づくりなどの実施)
- ② 外国語に対応できる人材育成
(案内人、ドライバー、観光客受入事業者)
- ③ プロモーションのスキルアップ
- ④ 水戸市、大洗町、益子町など地域連携によるプロモーションの実施(連携先市町との共通認識)
- ⑤ 滞在してもらうための魅力づくり

8. 笠間市外国人旅行者検討委員会について

外国人旅行者の受入には、来訪する外国人旅行者に対する「受入の整備」、外国人旅行者を呼び込むための「誘致プロモーション」、迎え入れる「市民と観光関連業者の機運づくり」などを併せて、進めてゆくことが必要であり、今後具体的な取り組みを実施するため、整備の進捗を報告し、さまざまな意見、要望等を伺い、効果的な受入体制づくりを進めるため、今後も検討会を継続して開催する。

外国人旅行者受入整備の目標とする完成型

注：多言語＝英、韓、ベトナム、タイ

カテゴリー	対象・場所	目標とする完成型
公共施設	駅・バス停等のターミナルと2次交通関係	・外国人が電車から降り立ち、サイン表示を見ることでストレスなく2次交通であるバス、タクシー乗場へ移動できる。
		・バス乗場の時刻表、行き先、ルートが多言語表示されている。(茨交、周遊バス)
		・バス車内アナウンス(録音)が英語対応している。
インフォメーション	笠間観光協会(駅前案内所)	・協会事務所に外国人用のパンフレットコーナーがある。
		・笠間観光協会HPの多言語化
		・外国人旅行者に対するガイドサービスがシステム化している(言語に合わせたガイドのリスト化とその手配)
		・ホームステイの手配が出来る(市民活動課との協働)
		・レンタサイクルマップが多言語化されている。
		・インバウンド誘客、営業体制の確立
		・旅行業としてインバウンド受入態勢の確立
観光施設	笠間工芸の丘	・インフォメーションコーナーには、笠間工芸の丘パンフレット、陶芸などクラフトの案内が多言語化されている。その他、笠間市内主要観光施設の多言語パンフが設置されている。
		・陶芸体験などのクラフトに関して、多言語の解説によるVTRがある。
		・陶芸体験などをSTEP BY STEPで画像と組み合わせた多言語解説がある。(他の陶芸体験施設と共用できるものを作る)
		・陶芸作品の海外発送の確立
		・笠間焼作家の商品には、作家名が英語表記されている。

カテゴリー	対象・場所	完 成 型
観光施設	笠間稲荷神社	・境内の施設案内板に英語表記があるが、劣化して見えにくくなっている ので改修してほしい。
		・お守りやお札の販売品には英語表示をしてほしい。
		・神社の歴史、由緒は多言語パンフレット(PDF)を作成してほしい
		・観光的要素のある神事では、英語によるガイドツアーが開催してほしい。 その情報発信が行われている（国際交流協会、笠間観光協会と連携）
	稲荷美術館	・展示品の解説に英語表示がある。
	菊人形展	・菊人形展の由緒、解説した多言語パンフレットがある。(PDF)
		・英語ガイドツアーの実施（国際交流協会、笠間観光協会）
		・展示品の解説に英語表示がある。
	笠間日動美術館	・館内施設案内が多言語化してほしい。
		・常設展の解説に英語表示してほしい。
	春風萬里荘	・館内施設案内が多言語化してほしい。
	笠間つつじ公園	・公園内マップの多言語化されている。(PDF)
	神社・仏閣パンフ	・笠間市の史跡・神社・仏閣の由緒、祭事を紹介する多言語パンフレットがある。 （「ようこそ歴史と芸術の街へ」の中で紹介する。）
	笠間稲荷神社、西念寺、出雲大社常陸、愛宕神社、合気神社、鳳台院、林照寺、楞嚴寺、岩谷寺、光明寺、観世音寺、唯信寺、大日堂、笠間城跡、大石邸跡	
窯元の陶芸体験	・陶芸体験などをSTEP BY STEPで画像と組み合わせた多言語リーフレットがある。 （窯元ごとに作るのではなく、統一した物で良いのでは、工芸の丘のクラフトと連携して作成する）	
	・陶芸作品の海外発送の確立	

カテゴリー	対象・場所	完 成 型
商業施設	飲食店	・メニューの多言語化(主な材料の表示)
		・クレジットカード契約
		・洋式トイレの拡張
	笠間焼販売	・笠間焼作家の商品には、作家名が英語表記されている。
		・クレジットカード契約
		・商品の海外発送の確立
宿泊施設	ホテル	・多言語化されたHPとパンフレットがある。
		・館内施設案内が多言語化されている。
		・メニューの多言語化(主な材料の表示)
		・ハラルフード対応の店がある
	旅館	・多言語化されたHPとパンフレットがある。
		・館内施設案内が多言語化されている。
町並み	<p>門前通り ギャラリーロード やきもの通り 陶の小径</p>	<p>・商店街マップの多言語化、および商店、飲食店の屋号看板等の多言語化 (先進地の事例参照)</p>
市役所	IT	・主要な観光施設、スポットでは無料でWiFiが繋がる。 (外国人の移動ルート対象)
		・市HP(観光)は、多言語化されている。
		・かさまナビふるふるの多言語化
	PRツール	・「ようこそ歴史と芸術の街へ」「笠間市内イラストマップ(新規作成)」の多言語化。
	受入施策	・ホストファミリー登録制度の確立
		<p>・外国人に対して茨城空港と笠間間のタクシー代またはバス賃の補填制度</p> <p>・インバウンド誘致態勢の確立(専任担当者)</p>